

令和5年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和5年7月3日(月曜日)

○日時 令和5年7月3日 午前10時00分開会

○場所 議場

○議件

1. 行政視察について

○出席委員(6名)

委員長	永本浩子
副委員長	村椿敏章
委員	金兵智則
	栗田政男
	古田純也
	古都宣裕

○欠席委員(1名) 里見哲也

○傍聴議員(0名)

○事務局職員

事務局長	岩尾弘敏
次長	石井公晶
総務議事係	早渕由樹

午前10時00分開会

○永本浩子委員長 ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

本日の委員会では、行政視察について協議いたします。

先日、6月16日の当委員会において10月に実施することに決定いただきました、行政視察ですけれども……、すみません、失礼いたしました。

本日は里見委員から欠席の報告を頂いております。

それでは、本日の委員会ですけれども、行政視察について協議いたします。

6月16日の当委員会において、10月に実施することに御決定いただきました。

本日は委員の皆様からお寄せいただいた視察項目、視察先などについて協議し、決定したいと考えております。

まず、視察日程についてでございますが、前回の委員会で正副一任となっております。様々な都合を

勘案した結果、10月16日の週で17日に出発して、20日帰網の予定でよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでは、そのように決定いたします。

次に、視察項目、視察先の選定について皆様と協議したいと思います。

前回の委員会、またラインワークスにて候補先を提出していただいておりますので、改めて、提出者より説明を求めたいと思います。

それでは、皆さんラインワークスのほうに視察の候補地をまとめていただいておりますので、サイドボックスですね、サイドボックスのページを開いていただきまして、最初のページから提出者の方に簡単に説明をお願いしたいと思います。

それでは最初に、十日町市の使用済み紙おむつの燃料化実証事業について、これは栗田委員ですね、お願いいたします。

○栗田政男委員 では私から。

これは、紙おむつの燃料化実証事業というのは、これは以前から古都委員もよく認識というか、言っていた部分で、私はちょっとこの部分はわからないのでおもしろいなということで挙げさせていただきましたが、まず、今日の委員会でここで話すのはどうかと思うんですが、所管委員会、私たちの委員会が行くので偏ることなく、各分野、ごみだったらごみ、教育と3か所ぐらい当然見るのが普通なので、なるべくバランスよく、できればまとまった地域のほうが移動等もスムーズなんでしょうが、あまりそれにこだわってしまうと身動きが取れなくなるので、それも考慮しながら皆さんの御意見を頂ければなというふうに思います。

まず1点目の紙おむつの燃料化っていうのは、当市においても非常に重要なかなっていうことで挙げさせていただきました。

これも近いところっていったらなんですが、石川県だったので、赤ちゃんのこれ、定期便って調べてみると、子育て環境を充実させたいっていう部分ではないかなというふうに思ったので挙げさせていただきました。これは小松市ですね。

次も僕かな。

○永本浩子委員長 そうですね。

○栗田政男委員 かほく市の、これは保育サービス、この部分も本市にとっては非常に重要な部分なのかなということで、僕にすると孫の世代になってしまうんですが、そんな感じで挙げさせていただきました。

愛知県は違いますね。

○永本浩子委員長 それでは岡崎市の校内フリースクール「F組」は古都さん、古都委員お願いいたします。

○古都宣裕委員 「F組」なんですけれども、近年、不登校児等が増えてきている中でフリースクールに対する取組ということで、先進的に取り組んでいる事例があったので、視察に値する項目ではないかなと思って挙げさせていただきました。

以上です。

○永本浩子委員長 ありがとうございます。

それでは次の「おたがいさまセンターちゃっと」は私ですので、私のほうから説明させていただきます。

この「おたがいさまセンターちゃっと」と、その次の多職種合同ケアカンファレンス、これ両方とも愛知県豊明市の取組なんですけれども、昨年もその前も、全国の視察件数第1位ということで挙げられているところでございます。

「おたがいさまセンターちゃっと」というのは、これ平成29年からもうスタートして6年取り組んでいる内容になりますけれども、市内に住んでいる人同士でちょっとしたお困りごとを助け合いながらやっていこうということで、ちょっとこれ、今後高齢社会になったときにこういった取組ってというのがうまく機能していると、生きやすい世の中をつくれるのかなってという思いがあって挙げてみました。

また、その次の多職種合同ケアカンファレンス、これに関しては、本当に、地域の中で高齢者をみんな生活していけるように取り組んでいこうということで、網走でも多職種連携ということで私もその中に、昔は薬剤師として入っていたんですけれども、この豊明の取組は医療従事者、介護従事者だけでなく、一般企業とかそういったところも関わって、本当に画期的な解決の仕方をしているということで、オンラインでの参加もかなり多いようですけれども、こういったところを見ていくことも今後の網走の高齢社会を迎えるに当たっては、大変ためになるのではないかなと思って挙げさせていただきました。

普通に暮らせる幸せということをキャッチフレーズにして取り組んでいる内容ということになっております。

続きまして、次、古都委員、学力向上支援チームですね、古都委員お願いします。

○古都宣裕委員 学力向上支援チーム事業ということで挙げさせていただきました。

スクールアドバイザーという方がいらっちゃって、そこが中心となって動いて、学校の先生に事業の在り方、授業を子供たちへ理解させ方の力を向上させて、全体的な学力アップにつなげていくということで、データ等の分析なども、そういったものに基づいた上での指導を行っていくということで、網走市としての全体的な学力の向上につながるのではないかなということで挙げさせていただきました。

次の子供いじめ防止対策事業についても私が挙げさせていただきました。

こちらですね、攻めの情報収集ということで行政が積極的にいじめに関わって、解決のほうに行政側がアプローチして解決に動いていくという事業でありました。行政が逆に主導して解決に向かっていくっていうのはなかなか難しいところでもあるんですけれども、それを先進的に取り組んでいるのが、大阪の寝屋川市ということで挙げさせていただきました。

以上です。

○永本浩子委員長 その次ですけれども、いじめ防止の取組ということで、これもいじめに関する取組、私が挙げさせていただきました。

一般質問、澤谷議員の質問に入れていただいた内容なんですけれども、こちらの大阪の吹田市の取組です。

いじめを防止するということで、ここはもう全市小中学校を上げて、9年間通して、全小中学校でこのいじめ防止の取組をしているということで、日本の中でも、本当に先進的な取組なのではないかなと思っております。

その中でも、吹田グリーンスクールプロジェクトということで、一つは、今も網走も、全国的に全員、子供たちには1台端末が配られておりますけれども、この端末を通して、マモレポということで、児童生徒のヘルプサインということをいち早くキャッチをしていくという、こういった取組。それから、いじめが起りにくい学校風土の醸成に向けた取組ということで、ここが私はちょっとすごいこと

だなどと思っておりますけれども、このいじめ予防防止の事業とか、そういったことの分析、検証、そういったところを取り組んでいければ、網走市も今回のいじめ事案がありましたけれども、これからの取組としてとても参考になる取組ではないかと思って挙げさせていただきました。

そのほかにも、教職員向けのプログラムとか、スクールカウンセラーの配置、また、スクールロイヤー、弁護士さん関係の公的な視点での取組等も行っておりますので、実り多い視察ができるのではないかと考えて取り挙げさせていただきました。

以上です。

続きまして、淡路市の検診受診率アップ大作戦、古都委員お願いします。

○古都宣裕委員 検診率アップ大作戦ということで、姫路市が取り組んでいるんですけれども、淡路市ですね、失礼しました。

コロナというものを乗り越えた上で、なかなか検診につながらなかった部分をナッジ理論やAIを駆使した上でどう上げていくかというのが先進的な取組だなと。

AIを取り込んでいくというのも、最近のチャットGPTですとか、いろいろなAIの話も上がっている上で、どのように取り組んでいるのかというのがとても気になったので挙げさせていただきました。

次にスクールロイヤー制度なんですけれども、スクールロイヤーと市が3名の弁護士に委託をした上で、法的な観点から、そうした専門職と一緒に取り組んでいく中で法的な部分の指導を行っていくということで、どういう形で3名の弁護士さんがいらっしゃるということなので、それぞれが持っているのか、それとも一つの問題に対して何名かの弁護士が多角的に見ていくのかという部分が、そこまでは詳細には書いてなかったもので、どのような形でやっているのかなと思って、気になって案件として挙げさせていただきました。

以上です。

○永本浩子委員長 それでは次に、岡山市の山南（やまなみ）学園と読むのでしょうかね、栗田委員お願いいたします。

○栗田政男委員 教育所管ですよ。

中高、中高でないか、小中の一貫教育っていうのは、昔からかなり本州のほうでは行われている部分であるんですか、ここは高校まで入っているんじゃ

なかったかな。

先進的な、そういう方向性がある、当市においてそれが本当に可能なかっていうのはあるんですが、少なくとも小中の一貫教育っていうのが知識として必要なかっていうくらいの感覚で、岡山なのでそんなに遠いところでもないのっていうことで挙げさせていただきました。

○永本浩子委員長 山南（さんなん）学園だそうですね。

○栗田政男委員 山南（さんなん）ね、僕もわからない。

それで、先ほどちょっとちらっと言いましたが、ごみ処理は昨年この委員会では3か所、4か所って見られたみたいなんですけど、ごみ、ごみって嫌な人もいるかもしれませんが、当市においてはごみ問題が一番喫緊の課題なので、焼却施設の、この岩国市は先進的なものだという事です。少なくとも今後の今計画されている焼却施設も含めてすごく重要なのかなと思って、一点ごみ処理についても入れさせていただきました。

○永本浩子委員長 ありがとうございます。

それでは次、久留米市の自殺対策事業について、古都委員お願いします。

○古都宣裕委員 自殺対策事業として挙げさせていただきました。

この事業は福岡県久留米市で平成20年度からずっと継続されているということは、データの的にも効果があるから継続されているのであろうなということが推察され、この事業としても、小学校から中学生、高校生などに対して、若い方の自殺の予防を目的とした上での講座をやっているということで、どのような形でやっているのかなと。

近年、若い方の自己肯定感が低いことが自殺につながっているというデータもある中で、それをいかに高めていくかというのは全国的な課題であるというふうには私は認識していて、その取組の一つの参考としてぜひ見てみたいなと思って挙げさせていただきました。

○永本浩子委員長 次に、スポーツコミッションによるキャンプ、合宿大会……、スポーツ拠点施設整備事業ですね。

天草市、これは栗田さん。

○栗田政男委員 これも教育所管ということで数点挙げさせていただく中に、当市は、ラグビー、その他サッカーも含めて、スポーツ合宿の聖地ですか

ら、そういう部分でどうかと思っ、これと指宿のほうもそうですね、挙げさせていただいて、指宿も、あの周辺というのはすごく盛んですし、鹿児島ですから、鹿児島から指宿ってというのは1時間ぐらいかかりますので、ただ、アクセス的には新幹線で行っちゃえば、大阪からも、名古屋からも近いんじゃないかということで挙げさせていただいたんですが、えーとね、ここ、指宿に関しては宿泊施設と飲食店利用が条件ということとなっているんですが、高級な宿泊施設はあるんですが、なかなか町がそんなに大きな町じゃないので、それをコンクリートさされてしまうとなかなか行きにくいのかなと正直なところ思いますので、これ慎重に皆さんで判断されたほうがいいかなと思います。

天草のほうもスポーツですから、網走と同じようなことが行われているのではないかなと思うんですが、強いて言うと、今回無理してこの系統は触らなくてもいいのかなという気もしています。

○永本浩子委員長 ありがとうございます。

それでは、皆さんから出していただいた16か所の行政視察の候補地の説明を頂いたところです。

今回、候補を出さなかった方もいらっしゃるかと思いますけれども、今の説明等を聞いていただき、また資料等も読んで来ていただいたかと思えますけれども、ぜひここは行ってみたいというところがあれば御意見いただきたいと思います。

まずちょっと初めに、今日は欠席となっておりますけれども、里見委員のほうからラインワークスのほうに候補地、行きたいところを挙げていただいております。

里見委員のほうからは、7番目の寝屋川市の子供のいじめ防止対策、その8番目の吹田市のいじめ予防の取組、11番目の山南学園整備事業の三つを挙げていただいております。

その中で11番目の山南学園に関しては、「9年一貫教育は長期視野で、学校統廃合や部活など避けられない課題を示唆していると思います。今回ではなくてもいつか視察が必要かと思えます」ということで頂いております。

それでは皆様のほうから御意見いかがでしょうか。

○古田純也委員 大変興味深い多くの視察先を選んでいただきましてありがとうございます。

私も分類ごとにちょっと考えてみまして、まず、福祉、医療、介護部門としまして、淡路市で行われ

ている検診受診率アップ大作戦、これは大変興味ある事業だと思います。

それからスポーツの分野、先ほどの栗田委員からもちょっと条件があるというふうにお話ありましたけれども、やはり網走市と同じような人口でもありますし、今後多くの合宿を誘致する上では、この視察はちょっと行ってみたいなというふうに思っております。

○永本浩子委員長 どちらですかね。

○古田純也委員 指宿のほう。

それから、教育の分野では、スクールロイヤー制度といいまして、弁護士からの助言、また指導を受けるという制度、今後も、これから網走もいじめの問題がありまして、弁護士も加入するというところで、ここはぜひ視察していきたいなと思っております。

最後は、環境の分野では、やはりごみ関係で新潟の十日町市ですか、紙おむつの燃料化、リサイクルって部分を見学視察したいなと思っております。

以上4点。

○永本浩子委員長 ありがとうございます。

そのほかの委員さんはいかがですか。

○金兵智則委員 このたびは多くの委員の皆さんから挙げていただいて、はっきり言えばどれも行きたいなというのが正直な気持ちです。

やっぱりごみ問題についても見て行くとするならばおむつのほうかなという私個人的な意見としては。

焼却施設、前回から文教にいらっしゃる方は、いるのかどうかわかりませんが、焼却施設は遠軽も見に行つて、前回ごみ、ごみ、ごみの視察だったので、避けてもいいかなという正直な気持ちは僕自身にはありますけれども、ごみで選ぶなら紙おむつかなという感じはします。

それとやっぱり山南学園整備事業でしたかね、については今後ちょっと統廃合を見据えた中で、網走市は人口が減ってきた中で、学校の体制をどうしていくかという一助を考える一助になるのかなというふうに思っていますので、これについてもいいかなと思いますし、スポーツ拠点については、僕はどちらかといったら天草のほうをという気持ちもあります。

あと、やっぱりいじめ問題どちらか入れてもいいのかなと。

今ちょっと教育委員会の体制がこれまで起きてきたものの調査をという段階ですけれども、今年間300件弱報告が上がってきているというお話もこの

間ありましたけれどもこれを今後減らしていく方向も考えていかなければならないということで、いじめについてはどちらか入れるべきかなと思います。

あと豊明市が福祉の関係というか高齢者福祉の分野で1か所入っていてもいいのかなという感じがするところですよ。

なんかちょっと数多く言ってしまいましたけれども、あとはうまいこと地域性とか交通の便とかも含めながら、決めていただきたいなというふうに思います。

○永本浩子委員長 そのほかの皆さんはいかがですか。

○村椿敏章委員 私のほうからも3人の委員から様々挙げていただいて、非常に考える機会を与えていただいてありがとうございます。

私が行ってみたいと思ったのは、岡崎市のフリースクール、それから寝屋川市のいじめ対策、それといじめ対策で言えば吹田市のいじめ対策もどちらかがいいかなと思っております。

それと介護とかその辺で言えば、豊明市ですか、こちらのほうを見ていけたら参考になるのが多いんじゃないのかなと思いました。

それともう一つは紙おむつの燃料化、十日町ですか、がどうかかなというふうに感じたところです。

あと、もう一つぐらい挙げるとしたら検診受診率アップという淡路市のも若干見られたらなと思いました。

以上です。

○永本浩子委員長 はい、ありがとうございます。

○栗田政男委員 山南学園、人気がありましたね。よかったなと思います。

紙おむつのほうにどうも皆さん行っているみたいなので、僕もそっちがいいかなって。

ごみ処理施設はね、どこに行っても大体同じものなんですよ、多分。

また違った機会ですね、近場でもいろいろと調査させてもらえれば、無理してこの岩国には行かなくてもいいのかなと。

大阪のほうのいじめ云々は、やはり今すぐく網走の最重要課題です。

その中で我々がやっぱりしっかりと、その時期、10月の時期でもきちっとした回答は出てないと思いますので、そういう意味からしても所管委員会として責任を持って、この問題に取り組んでいる場所から、この二つは無理すれば多分1日でも可能なのか

なっている気がしますので、吹田、寝屋川、吹田は私は行ったことないですが、寝屋川は先進的な市役所です。私も一度行ってますので、そういう点からすると、このいじめは絶対外せないなっている気がします。

山南学園は皆さんが行きたいということでもいいなということでございます。

せっかく所管ですから、そういう部分でスポーツ施設となると今回は天草のほうがちよっと合致するのかなと、まずは天草から当たってもらえればなというふうに、以上、そのようなことで進めていただければ大変助かります。

以上です。

○永本浩子委員長 ありがとうございます。

古都委員はいろいろ挙げていただいた側ですけども、どうですか、ほかのところも見ていただいて。

○古都宣裕委員 皆さんの意見を聞いた中で、いじめの中で一つは入っていくのかなと思って見ました。

その中で寝屋川が結構対策が先進的だなと思って挙げさせていただいていたので、皆さんも、今、網走の中でいじめの問題については意識が高いというのがちょっとわかったっていうのと、あと僕の中でやっぱりフリースクールの部分が、今まだどこも先進的に取り組もうとしながらも苦勞している部分がある中で、事業としてしっかりと上げているというところが少ないので、これはちょっと見てみたいなのがあったので、できればという中でも、皆さんの意見を聞いた中で全然こう話が上がらなかった事業をこの中から削除していくと、四つ五つはなくなった中で絞っていくのかなというのがわかったのでその中で選んでいただければと思います。

○永本浩子委員長 ありがとうございます。

今、皆さんからいろいろとお話を頂きまして、私自身も、まずはこのいじめのことは、今回ぜひ先進的なところを学んでいきたい、今これから私たちが一番関わっていきなさいいけない部分ですので、どちらかという寝屋川市は起きたそのあとの対処方法というところが大変明確にできているところかなと思います。

吹田市に関しては少し長期展望に立った上での予防対策ということで、場所も近いので、もし両方見られればいいかなという思いはありますけれども、皆さんのほうからもいろいろ意見がありまして、多

分このいじめに関しては、一つないしは二つという方向になるのではないかと思います。

そしてまた、十日町市の紙おむつの燃料化、紙おむつをそのまま焼却してもものすごく負荷がかかりますし、燃やすための燃料もかかりますけれども、焼却の熱を使って乾燥させて、十日町の場合はペレットにするということなので、そのペレットにしてしまった後は、網走ではちょっとなかなか使い方が難しいかと思えますけれども、紙おむつの乾燥、お金をかけずに焼却熱で乾燥させてっていうこととか、そういったところはすごくいい着目点だとも思えますし、何かいい形で網走にも生かせたらなという思いで、私もこの紙おむつの燃料化のほうは見てみたいと思いました。

あと、一応皆さんのそれぞれの意見を聞いたところですので、一旦ここで休憩にしたいと思います。

午前10時29分休憩

午前10時43分再開

○永本浩子委員長 それでは再開いたします。

様々候補地が上がりましたけれども、ほぼ行きたいところが少しずつ固まってきたかと思えますけれども、いかがでしょうか。

○金兵智則委員 先ほど各委員から意見もございました。

休憩中も種々議論もさせていただきましたので、やっぱり今網走の大きな大きな課題となっているいじめ問題については、1か所もしくは両方行けるなら、両方ということでここを大前提に、先ほども言いましたけれども、学校再編を考えたときには岡山県の山南学園、そしてスポーツ施設関係、やっぱりスポーツに力も網走市はこれからも入れていかなきゃいけないので、スポーツ関係、どちらかというとな草のほうがいいのかなというふうなあれもありますけれども、詳細については最後、正副委員長にお任せしながら今の意見を参考に進めていただけたらなというふうに思います。

○永本浩子委員長 今、金兵委員からもありましたけれども、この後正副に一任ということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上をもちまして文教民生委員会を終了いたします。

お疲れさまでございました。

午前10時43分閉会